三島市の将来像について
この機会に一緒に考えてみませんか？

地域行政懇談会

開催日

5月 9(月) 20(金) 24(火) 27(金)

午後７時～８時30分

1

本日のテーマ

① 三島の発展につながる観光振興について

② 三島の顔となる駅前再開発について

【テーマの前に…】

三島市の人口ビジョン及び
住むなら三島・総合戦略～まち・ひと・しごと創生～
について

2

平成27年国勢調査の結果

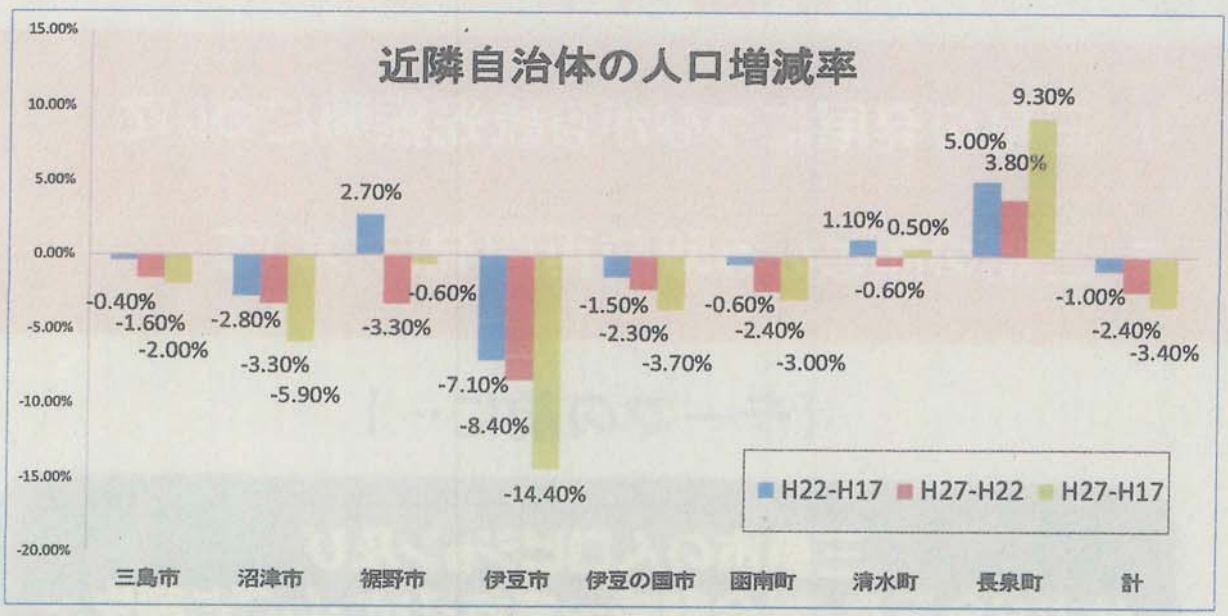
		人口・世帯	22年調査比	増減率
	合計	110,030 人	△ 1,808 人	△1.6%
人口	男	53,847 人	△ 1,064 人	△1.9%
	女	56,183 人	△ 744 人	△1.3%
世帯数		45,148 世帯	＋528 世帯	＋1.2%

	人口	国勢調査との差
国勢調査	110,030 人	―
住民基本台帳（9月30日現在）	111,626 人	△ 1,596 人
社人研推計値	109,952 人	78 人

人口は、前回の22年調査から減少しているが、首都圏一極集中による社会減少（転入＜転出）はほぼ一定である一方、少子高齢社会の進展による自然減少（出生＜死亡）が増加していることが要因と考えられる。

世帯数増については、未婚、高齢の単身世帯の増加が要因と考えられる。

平成27年国勢調査の結果（近隣自治体比較）



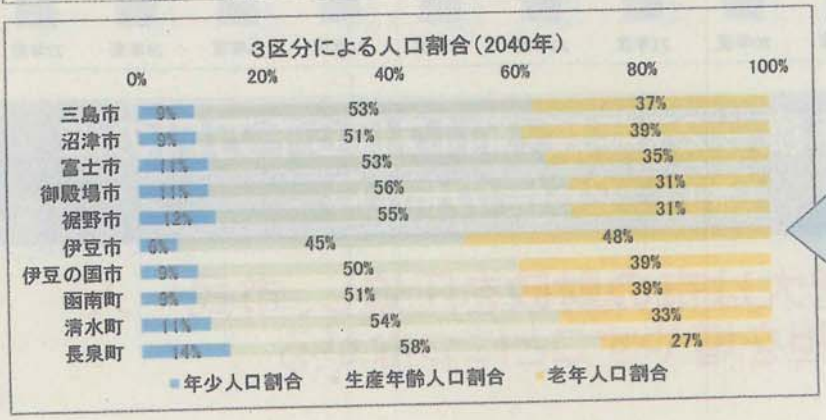
- 裾野市と清水町が今回調査で初めて減少に転じた。
- 裾野市の大幅な減少は、トヨタ自動車東日本㈱関連事業所の市外移転が要因と推測される。
- 長泉町は人口増加数が減少（平成17年→22年では2,047人）したものの、唯一増加した。

人口の自然増減・社会増減

社会増減は年による変動があるものの、2008年以降は概ね
200～400人程度の社会減（転出超過）傾向が続いている。

	自然増数(人)	社会増数(人)	人口増減(人)
2003	201	117	318
2004	94	358	452
2005	122	-65	57
2006	81	79	160
2007	74	27	101
2008	-40	-299	-339
2009	-34	-296	-330
2010	-90	-52	-142
2011	-184	60	-124
2012	-171	-202	-373
2013	-182	-262	-444
2014	-273	-367	-640

三島市の人口推移及び年齢構成



(出典:国立社会保障・人口問題研究所
『日本の地域別将来人口推計』)

2040年には
三島市での
老年人口割合
は37%
生産年齢人口
は53%
と予想される

少子高齢・人口減少で予想される影響

① 公共施設、公共インフラ施設における1人あたりの維持管理費等の増加
② 住民税など個人関連の税収の減少
③ 社会保障関連経費の増大に伴う働く世代の負担増
④ 郊外に住む住民の高齢化と生活利便性の低下
⑤ 企業立地や雇用環境への影響
⑥ マイナス影響の関連と悪循環

三島市として、これらの影響を回避する必要がある

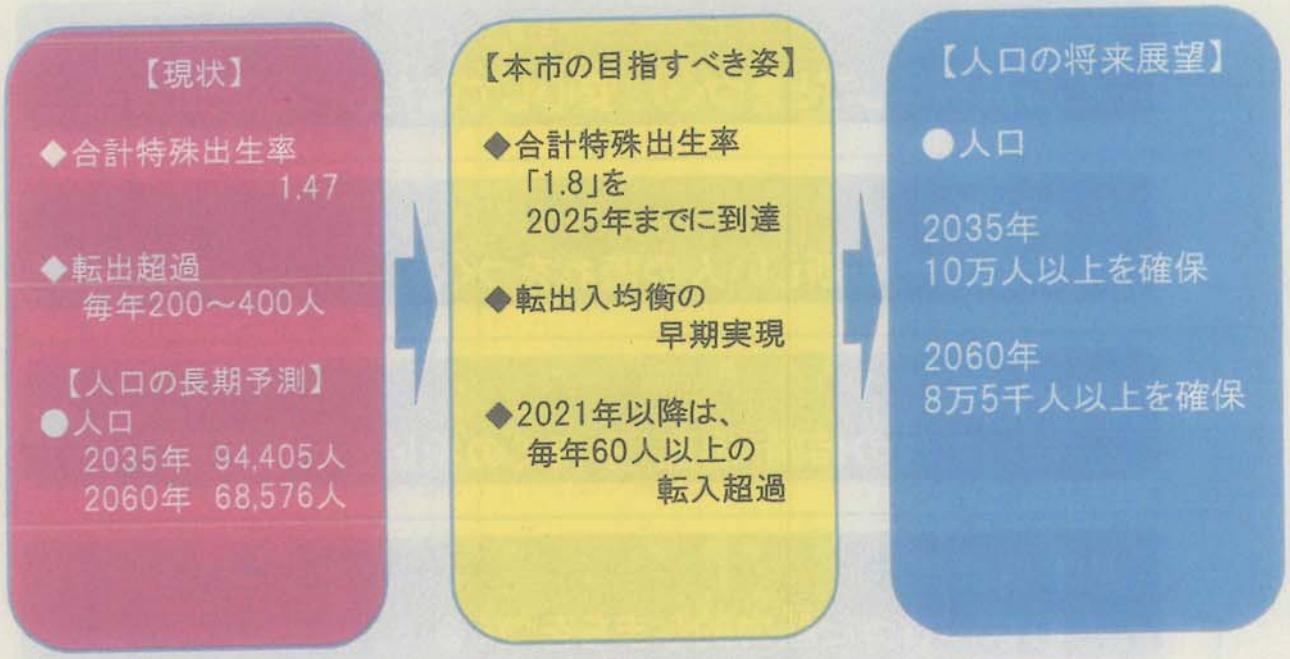
少子高齢・人口減少で予想される影響

■社会保障関連経費の増大に伴う働く世代の負担増 （具体例）

平成18年度→27年度：約17億6千万円の増
（約1．26倍の伸び）

医療費の増大は市の財政を圧迫し、市民一人ひとりの負担を増やすことにつながる

目標とする人口の将来展望



住むなら三島・総合戦略
～まち・ひと・しごと創生～

まち・ひと・しごと創生の動きは、

① 人口減少対策

② 東京一極集中の歯止め

の２つの解決のために地方創生というテーマを設定した点に特徴がある。

■ 計画期間

平成27年度～平成31年度

■ 本市の地方創生に対する基本方針

若者の結婚から子育てまでの希望をかなえ、
魅力的で品格のあるひとづくり・まちづくりを進め、
幅広い世代の方々や企業から「選ばれる都市」を目指す。

住むなら三島・総合戦略
～まち・ひと・しごと創生～

基本目標Ⅰ
三島市にしごとをつくり、安心してはたらけるようにする

基本目標Ⅱ
三島市への新しい人の流れをつくる

基本目標Ⅲ
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標Ⅳ
時代に合った魅力的なまちをつくる

基本目標Ⅰ　三島市にしごとをつくり、安心してはたらけるようにする

数値目標
- 従業者数（事業所単位）45,788人（2012年）→46,000人（2019年）

主な施策	主な事業
「内陸のフロンティア」を拓く取組の推進	・三ツ谷地区新たな産業拠点整備事業　など
ヘルスケア産業の創出	・ファルマバレー関連事業所集積促進事業　など
農業の成長産業化	・企業の農業参入支援事業　など
観光地域づくりの推進	・観光誘客推進事業　など
地域における女性の活躍推進	・女性リーダー育成事業　など

基本目標Ⅱ　三島市への新しい人の流れをつくる

数値目標
- 社会動態を2017年度までに均衡化させる
- 企業の本社機能移転数2社（2019年度）

主な施策	主な事業
「内陸のフロンティア」を拓く取組の推進	・ゆとりある田園居住区整備促進事業　など
移住・定住施策の推進	・『すむ』まち三島プロジェクト　など ※住むなら三島DVD　→　県東京移住センター
企業の地方拠点強化等	・地方活力向上地域特定業務施設整備事業　など
戦略的シティプロモーション	・三島ファンネット推進事業　など
地方大学の活性化	・グローバル人材育成都市推進事業　など

基本目標Ⅲ　若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標
- 合計特殊出生率1.6以上（2019年）
- 「子育て支援サービスの充実度」に関する不満率
  10.9%（2015年度）　→　7.0%（2019年度）

主な施策	主な事業
結婚支援	・婚シェルジュ（結婚世話焼き人）育成プロジェクト　など
妊娠・出産・産後の切れ目のない支援	・妊娠・出産包括支援事業　など ※三島総合病院24床　周産期センター 3/28～
子ども・子育て支援の充実	・子ども医療費等の助成　など ※保育園保育料　第2子：半額、第3子～：無料
ワークライフバランスの実現	・男性の育児休業取得奨励事業　など

基本目標Ⅳ 時代に合った魅力的なまちをつくる

数値目標

- 三島市民の幸福度6.79（2015年度）→ 6.9（2019年度）
- 「三島市への住みやすさ」に関し、「非常に住みやすい」と回答した人の割合　22.9%（2015年度） → 30%（2019年度）

主な施策	主な事業
良好な市街地の形成の推進	・三島駅南口再開発事業　など
ファシリティマネジメントの推進	・公共施設保全計画策定事業　など
防災・減災対策の推進	・住宅などの耐震化の推進　など
「スマートウェルネスみしま」の推進	・スマートウエルネスみしま推進事業　など
「ガーデンシティみしま」の推進	・市民・企業協働型ガーデンシティみしま推進事業　など
地域のきずなづくりの推進	・地域の市民団体のきずなづくり事業　など
教育と教育環境の充実	・小・中学校コンピュータ整備事業　など ※電子黒板・デジタル教科書の導入

本日の地域行政懇談会のテーマ

基本目標Ⅰ 三島市にしごとをつくり、安心してはたらけるようにする

- 従来の取り組みである政策を中心に、**特色を活かした地域の総合的な産業の発展**と、雇用の拡大と**交流人口の増大を図る**。

テーマ１　三島の発展につながる観光振興について

基本目標Ⅳ 時代に合った魅力的なまちをつくる

- 三島市では美しく品格のある魅力的なまちづくりに取り組んでおり、今後とも、この方向性に即しつつ、**時代の要請に沿う取組みを図る**ことで、さらにまちの魅力を高め、**住みやすい都市として市内外の住民から選ばれるまちづくり**を目指す。

テーマ2　三島の顔となる駅前再開発について

箱根西麓・三島大吊り橋（三島スカイウォーク）と富士山

テーマ 1

三島の発展につながる観光振興

1 現状と課題

富士・箱根・伊豆地域の玄関口

三島市は、
鉄道や幹線道路、東駿河湾環状道路など、
富士・箱根・伊豆地域の玄関口として
主要なアクセスポイント
拠点機能の強化や戦略的な施策展開が求められる。

海外からの観光客～おもてなし～

富士山や韮山反射炉の世界遺産の登録
２０２０年東京オリンピック・パラリンピック開催決定

↓

海外からの観光客の増加に期待

↓

海外からの観光客の更なる満足度を上げるため、
「おもてなし」の取り組み強化が必要。

観光振興に関する国の動向

地域の「稼ぐ力」や「地域価値」の向上に向けた地域のまちづくりを支援する政策パッケージ（平成28年3月 内閣府地方創生事務局）

◎国内外の観光客の需要の取り込み
- グローバルコミュニケーション計画の推進（言葉の壁をなくし自由な交流を）
- 地域資源を活用した観光地の魅力創造（歴史的景観、魅力ある食文化等）
- 外国人観光客の利便性向上（Wi-Fiステーション・免税手続カウンター整備等）

「明日の日本を支える観光ビジョン」による「観光先進国」実現に向けて

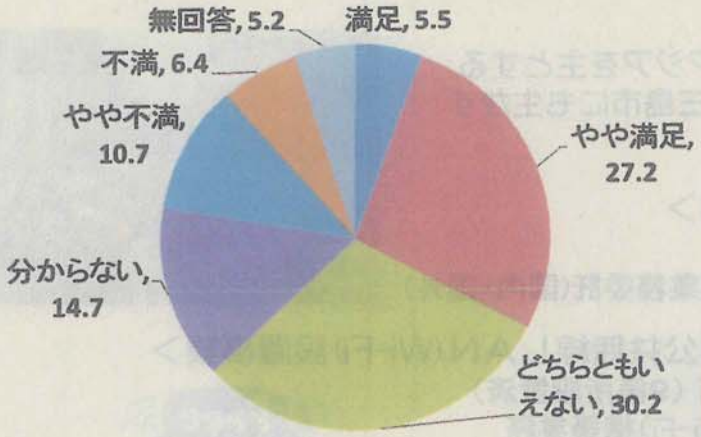
訪日外国人旅行者数（目標値）
2020年：4,000万人（2015年の約2倍）
2030年：6,000万人（2015年の約3倍）

「観光立国戦略」の一環としてのスポーツツーリズムの推進

プロスポーツの観戦者やスポーツイベントの参加者と開催地周辺の観光とを融合させ、交流人口の拡大や地域経済への波及効果などを目指す。

2 市の取り組みの満足度

平成27年度実施 市民意識調査「観光・イベントの振興」



○「どちらともいえない」、「わからない」の合計 ４４．９%
○「満足」、「やや満足」の合計 ３２．７%
○「不満」、「やや不満」の合計 １７．１%

観光誘客を促進していくため一層の取り組み強化が必要

【三島市の観光客数】
◆平成22年度：429万人
◆平成26年度：618万人
◆平成28～32年度
：年間700～800万人（想定）

観光客の増加
↓
ビジネスチャンス
（投資拡大）

3 現在取組中の施策

（1）観光資源の整備・充実

「内陸のフロンティア」を拓く取組の推進

防災・減災対策と地域成長の両立を掲げ、安心・安全で魅力ある地域づくりを進める。

- 農業・観光関連施設集積事業 ほか

「ガーデンシティみしま」の推進

三島市の水と緑、文化や歴史などの財産に「花」を加え、住んでいる人も観光で訪れた人も癒される「美しく品格のあるまち」をめざし、市民・NPO・事業者と行政等が協働で事業を推進する。

- ガーデンシティみしま推進事業
- あかりの回廊創出事業
- 蓮沼川修景整備事業
- 地域環境づくり推進事業

市民、行政など関係者が連携し、一体的に取り組むことが今後の課題

（2）観光地域づくりと「おもてなし」の充実

観光誘客推進事業

インバウンド対策として、アジアを主とする外国人観光客の増大の流れを三島市にも生かすための各事業を展開する。

＜観光プロモーション事業＞
- 市街地誘客促進事業
- 観光プロモーション推進業務委託(国内・国外)

＜観光施設等における無料公共無線ＬＡＮ(Wi-Fi)設置事業＞
- 公共無線LAN整備業務（9箇所設置済）
- 公共無線LAN(みしまWi-Fi)構築業務

＜観光施設等における多言語表示事業＞
- 案内サイン多言語化業務(QRトランスレーター、看板設置)
- 案内サイン多言語化PRパンフレット作成

＜キャッシュレス環境整備・免税販売促進事業＞
- クレジット及び免税端末導入支援
- セミナー開催

箱根西麓観光エリア整備事業

- 大型看板の設置等により三島大吊り橋から中心市街地に人を呼び込むトータル的な観光シティプロモーションを展開
- 山中城跡、箱根西麓・三島大吊り橋を中心とした次世代の観光地域整備
- ノルディックウォーキングコースの整備
  （箱根西坂富士美コース　全日本ノルディック・ウォーク連盟認定）

「東京ディズニーシー・スペシャルパレード」

市制施行75周年記念事業の一環として、みしま花のまちフェアのイベント「花のまちパレード」のひとつとして開催（5月29日）

利便性のアピールやイベントによる誘客に、三島独自の「おもてなし」をいかに組み合わせるかが今後の課題

（3）地域の歴史・街並み・文化・芸術・スポーツ等による地域活性化

みしまびとプロジェクト映画によるシティプロモーション

2016年3月に完成した市民参加型地域映画
「惑う After the Rain」を活用し、
市民の地域に対する愛着を醸成するとともに、
“地域の未来をつくるひとをつくる”次世代育成を推進する。

三島市歴史的風致維持向上計画推進事業

地域信仰などをはじめとした、歴史ある建造物や
人々の活動を伴った歴史的風致を維持・向上させ、
後世に継承させていくため、
歴史まちづくり計画を策定し、事業を展開する。

市制75周年記念文化事業 「みしまの文化百花繚乱」

市制75周年及び文化振興基本計画の策定を記念して
秋に開催される文化事業の情報をとりまとめ
総合的な広報活動を実施する。

スポーツ・文化コミッション

2020東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、スポーツや文化のイベント等の誘致を通じて、宿泊、飲食、土産物購買等の消費を呼び込み、地域活性化と産業振興を図る。

健幸観光プロジェクト（健康観光誘客事業）

健幸都市として、「三島に来ると健康で幸せになれる」をキーワードに、県内外から観光客を呼び込み、三島市の健康コンテンツをパッケージにして旅行会社等に売り込むことで誘客を図る。

- 旅行会社の旅行商品造成者と観光学部大学生を招いた「三島市健康観光現地見学・体験会」を開催
- 山中城とノルディックウォーキングコース（箱根西坂富士美コース）を利用した日帰りバスツアーハイキングの実施

「する・見る・支える」スポーツを切り口とした産業振興＝スポーツツーリズムの推進

地域に根付いた誘客の流れを、イベントやツアー参加で終わらせず関心を地域に向けさせることが今後の課題

4 皆様にご意見・ご提案いただきたいこと

観光交流客数のさらなる増加を目指す

・市民の取り組みは。また、市の取り組みは。

誘客促進につなげる

・より効果的なＰＲ活動とは。

増加する観光客を

・いかにして地域の活性化につなげ、どう活かしていくか。

各地域における活動

・新たな観光資源の掘り起こしを。

テーマ 2

三島の顔となる駅前再開発について

～市民の“健幸”、まちのにぎわいづくり、活発な経済のために～

本日の説明内容

1 事業の経過・背景、必要性
2 事業の内容（開発コンセプトなど）
3 皆様にご意見・ご提案いただきたいこと
○開発コンセプト実現のためのアイデア
○健康づくりやにぎわいの拠点として
利用したい施設・機能

1　事業の経過・背景、必要性

（1）三島駅南口に求められるもの

①富士・箱根・伊豆の玄関としての「顔づくり」

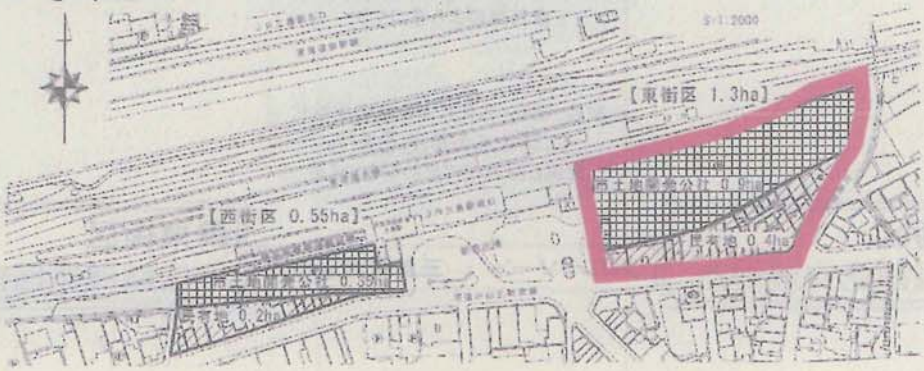
②交流機能の向上と快適な都市空間の形成

③広域圏の中心市街地に相応しい高次都市機能の導入

➡単に民間市場に委ねていては、賑わいある魅力的な都市環境を創出していくことは難しい。

地元・行政・事業者のパートナーシップによる事業推進

■ 事業区域



1　事業の経過・背景、必要性

（2）事業の経過（東街区）

昭和62年度	三島駅南地区　地区再生計画調査　約37ha
平成２年度	三島駅前東街区市街地再開発事業推進協議会設立
平成５年度	第１回パーソントリップ調査
	➡将来交通需要増加が見込まれ、小山三軒家線の4車線化が必要となった
平成５年度	三島駅前地区地下水等環境影響調査
～６年度	
平成９年度	国鉄清算事業団から払下げ【再開発用地として】
	（多くの人が交流する賑わいと活気あふれる商業・観光等の拠点づくり）
	※小山三軒家線の4車線化を含む都市計画決定を目指したが、平成10年に断念
平成18年度	第２回パーソントリップ調査→２車線で事業化可能
平成20年度	準備組合設立
平成22年度	保留床取得予定者の公募・選定
平成23年度	東日本大震災の影響等により、床取得者が撤退表明　➡事業の白紙化を決定
	「三島駅周辺グランドデザイン」の策定（パブコメ実施：H24.1.11～2.10）
平成25年度	ＵＲ都市機構の自主調査事業と連携した事業化方策の検討
平成26年度	「事業スキームの検討、事業協力者公募に向けた準備」
～27年度	（ＵＲ都市機構に委託）

1　事業の経過・背景、必要性

（3）三島駅周辺グランドデザイン

重要政策課題

定住人口・交流人口の増加　地域経済の活性化と雇用の創出　社会保障負担増に対する対策　協働によるまちづくりの推進

（まちづくりの理念・ビジョン）

にぎわいある美しいまち

ガーデンシティ
庭園都市みしま
水と緑と花に囲まれた
心豊かに暮らせるまちをつくる

地元の産業を支援する
持続可能な経済の構築
ヒト・モノ・カネが地域内で循環する
自立型のまちをつくる

スマートウエルネスシティ
“健幸”都市みしま
健康な市民が
活力あるまちをつくる

産業・歴史・文化による地域活性化
にぎわいのあるまち
交流と回遊がにぎわいをつくる

■西街区
➡広域観光交流拠点

フロントゾーン ： 三島駅周辺地区

■東街区
➡広域健康医療拠点

1　事業の経過・背景、必要性

（4）健康医療拠点の必要性

「スマートウエルネスみしま」とは・・・

まちづくり全体に“健幸”の視点を

健幸運動教室のようす

タニタ協働事業

治療中心から予防重視へ
食と運動で健康づくり
無関心層の健康づくり

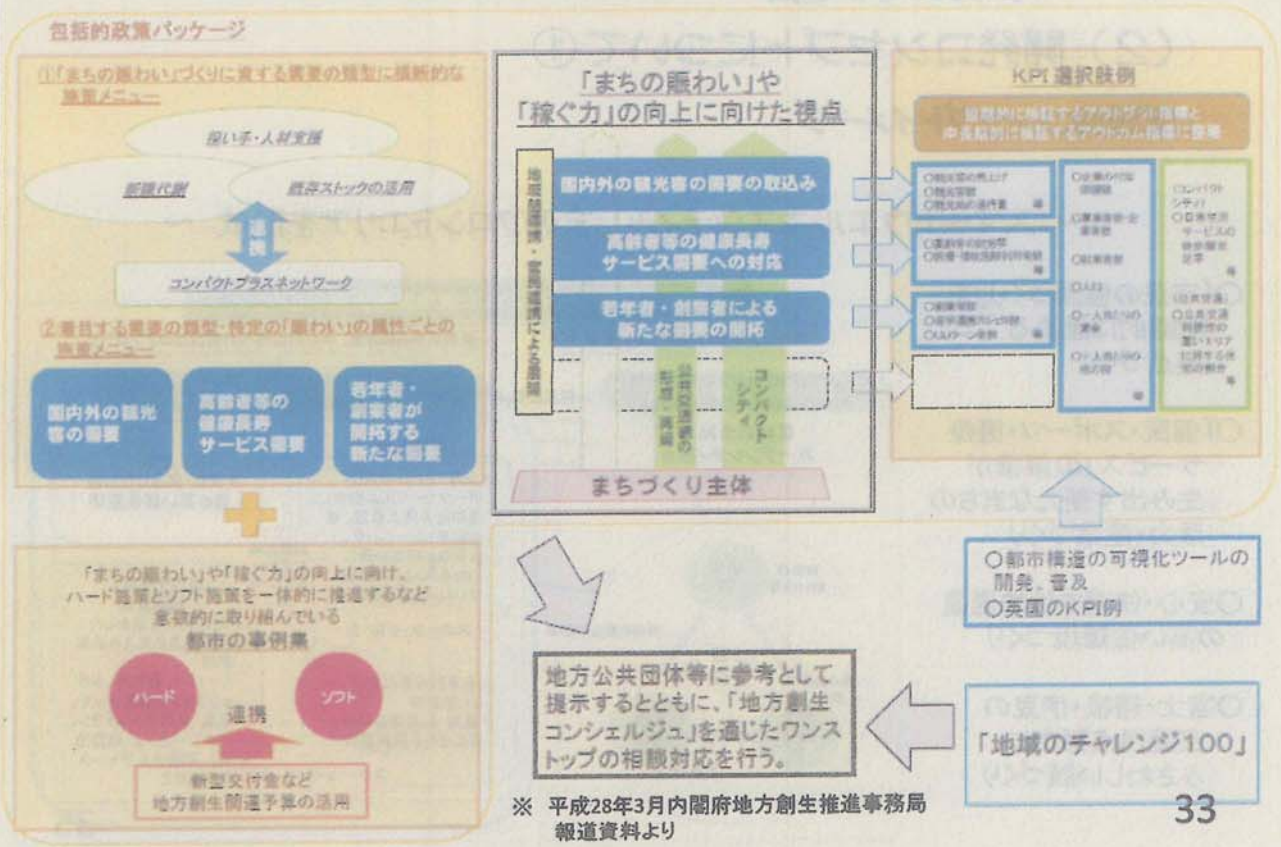
社会参加の場づくり
歩いて暮らせるまちづくり
公共交通の充実

地域活性化（食とスポーツ）
産業振興（医療健康産業）

平均寿命（平成22年）
男性：79.55歳　女性：86.30歳
資料：厚生労働省「平成22年完全生命表」

健康寿命（平成22年）
男性：70.42歳　女性：73.62歳
資料：厚生労働科学研究費補助金
「健康寿命における将来予測と生活習慣病
対策の費用対効果に関する研究」

地域の「稼ぐ力」や「地域価値」の向上に向けた地域のまちづくりを支援する包括的政策パッケージ（概要）



※ 平成28年3月内閣府地方創生推進事務局報道資料より

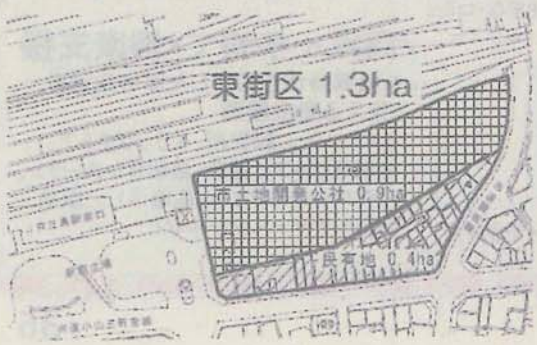
2　事業の内容

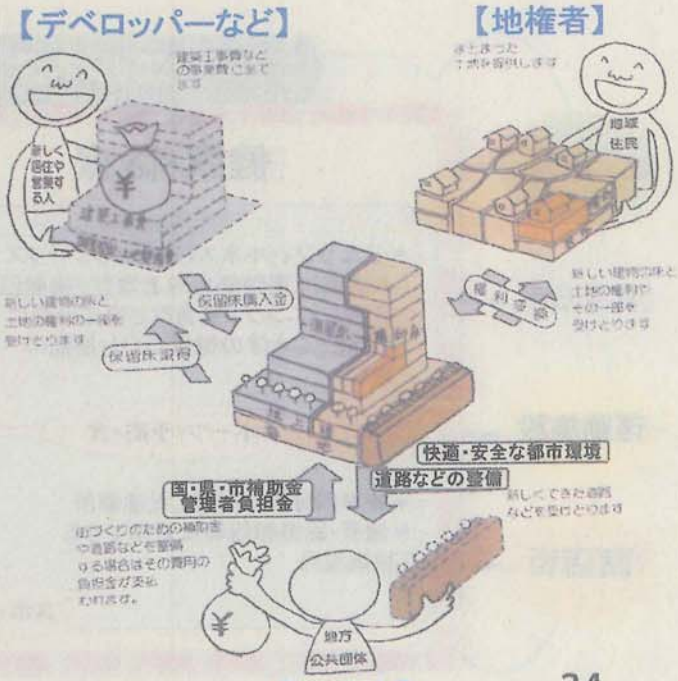
（1）今回の再開発と施設整備・機能導入の考え方

組合施行による民間再開発

事業資金の大半は民間事業者が提供

開発コンセプトの実現には市場性・事業採算性の確保が重要





2　事業の内容

（2）開発コンセプトについて①

■開発コンセプトイメージ

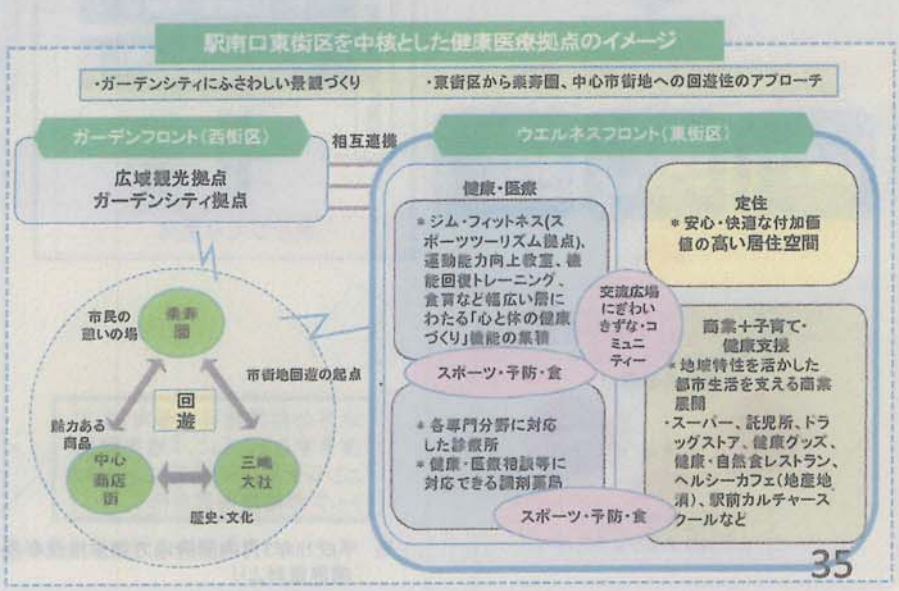
～ スマートウエルネスシティみしまのフロントエリアを形成 ～

○「市民の健康づくり」を戦略的に進める拠点づくり

○「健康・スポーツ・医療サービス」の集積が生み出す新たなまちの活力・産業づくり

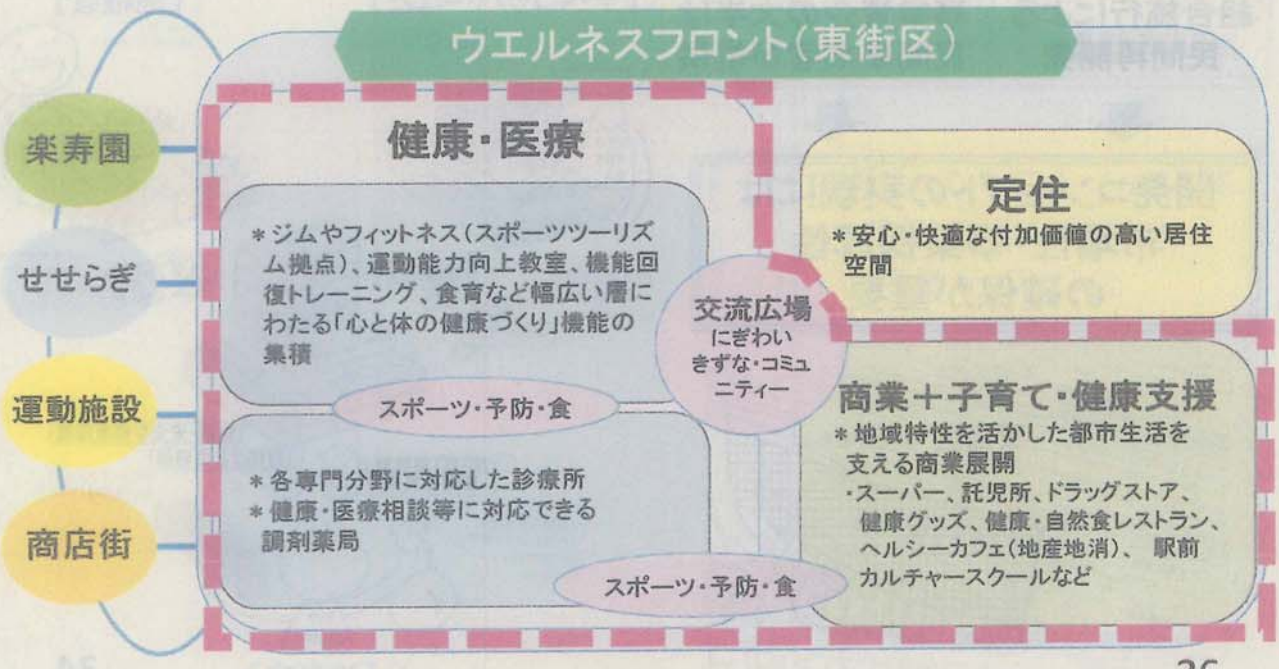
○安心・快適で付加価値の高い住環境づくり

○富士・箱根・伊豆の交流拠点都市にふさわしい顔づくり



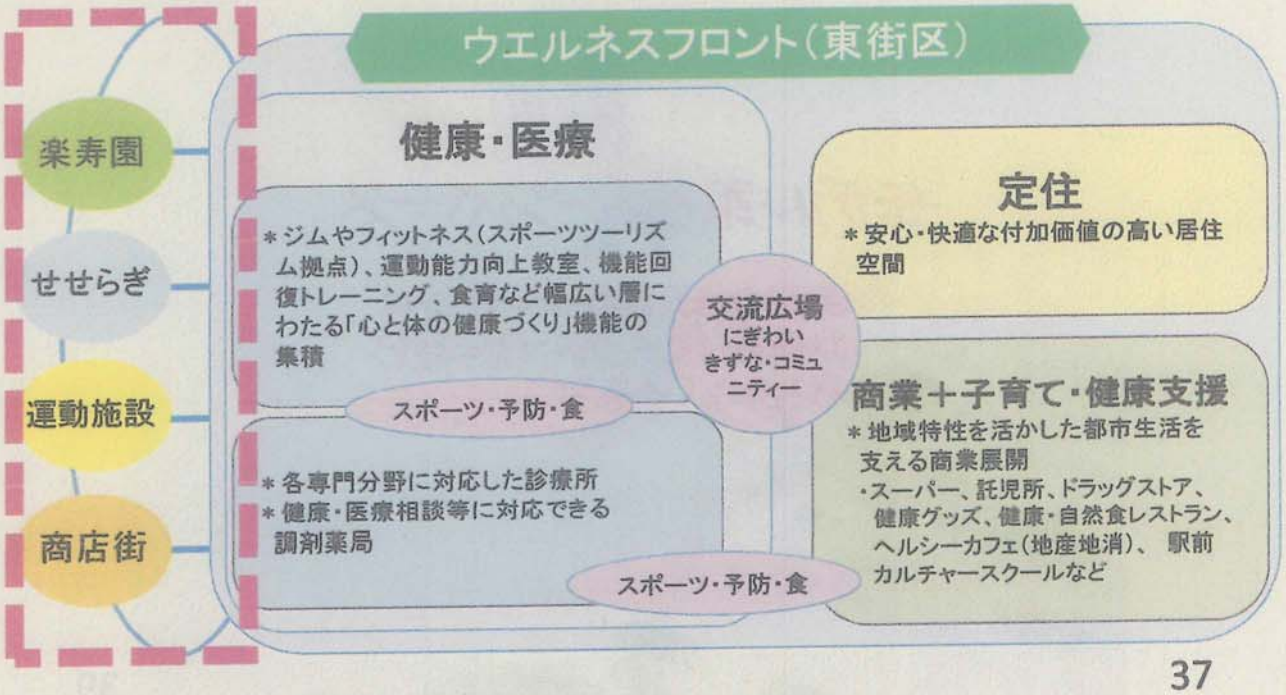
2　事業の内容

（2）開発コンセプトについて②



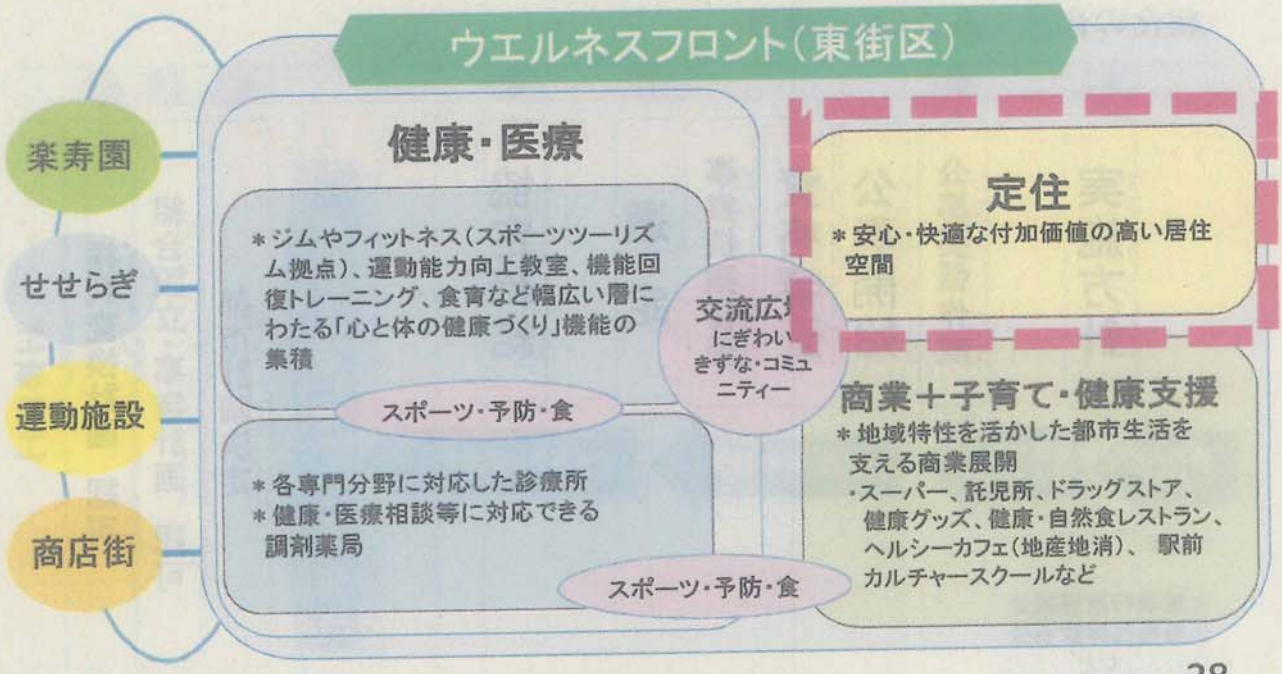
2　事業の内容

（2）開発コンセプトについて③



2　事業の内容

（2）開発コンセプトについて④

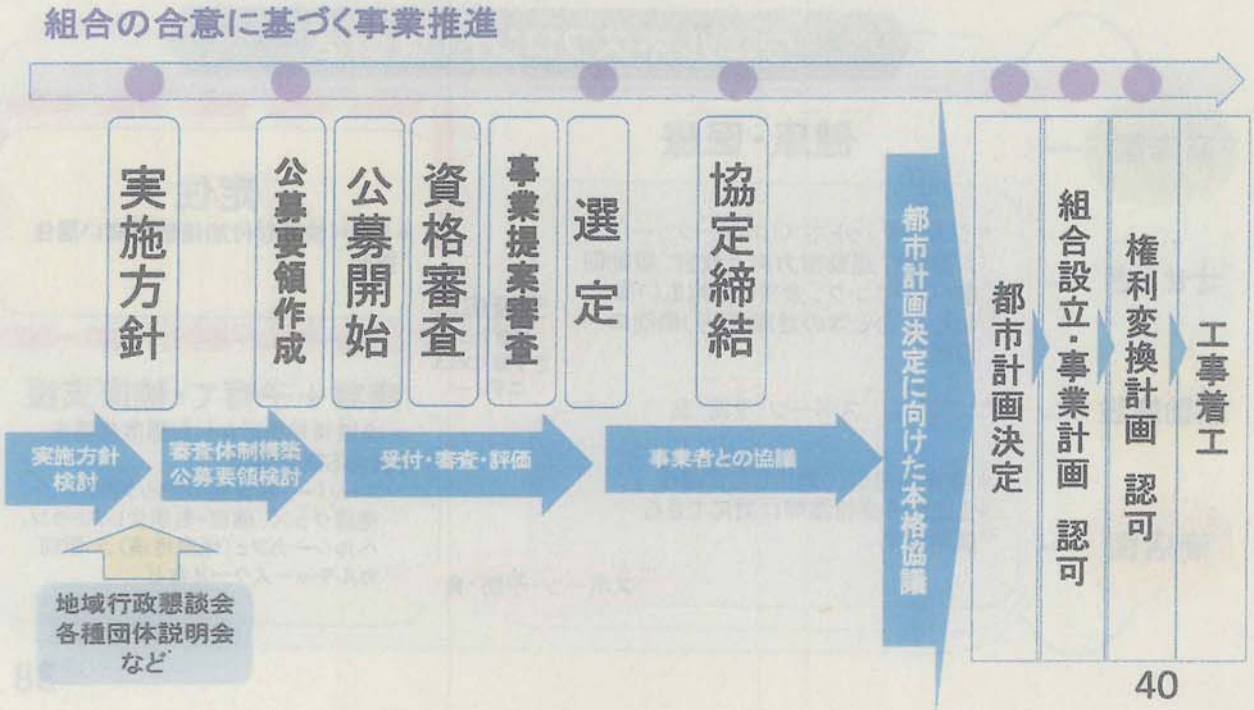


2　事業の内容

（3）イメージパース

2　事業の内容

（4）事業の今後の流れについて



3　皆様にご意見・ご提案いただきたいこと

開発コンセプト実現のためのアイデア

- 具体的なアイデア提案、ご意見など

健康づくりやにぎわいの拠点として利用したい施設・機能

- 「訪れたい」「ゆっくり過ごしたい」と思えるような施設の雰囲気・工夫でも可

市場性の検討 → 活用・検討 ← 事業採算性の確保

開発コンセプトの具現化 ・ 市民に喜ばれる施設づくり

もっともっと三島を

・自分の誇れるまち・・・
・多くの人に愛されるまち・・・

にするため

・・・意見・提案・アイデアを・・・